

会 議 録	
会議の名称	令和5年度第1回清須市地域公共交通会議
開催日時	令和5年5月29日（月） 午前10時から午前11時23分まで
開催場所	清須市役所南館3階 大会議室
議題	1 開会 2 議事 [報告事項] (1) 令和5年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて (2) 令和4年度コミュニティバスの利用状況の推移について [協議事項] (1) 令和4年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について (2) 清須市地域公共交通計画に係る取組状況の評価（案）について (3) 令和6年度清須市地域公共交通計画別紙（案）について 3 その他 4 閉会
会議資料	会議次第、委員名簿、配席表 [会議資料] 資料1 令和5年度清須市地域公共交通会議スケジュール 資料2 令和4年度コミュニティバスの利用状況の推移 資料3 令和4年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算 資料4-1 清須市地域公共交通計画の概要 資料4-2 清須市地域公共交通計画に係る取組状況の評価（案） 資料4-3 清須市地域公共交通計画の評価等結果（案） 資料5-1 地域公共交通確保維持改善事業の概要 資料5-2 令和6年度清須市地域公共交通計画別紙（案） 参考資料 清須市地域公共交通計画・抜粋
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数	2人
出席委員	前田委員、山田委員、林委員、佐藤委員、柴田委員、加藤（榮）委員、鬼頭委員、加藤（博）委員、宮川委員（代理）、吉金委員、荻田委員、大島委員、毛利委員、

	河口委員、鈴木委員
欠席委員	石屋委員、多田委員、小林委員
出席者（市）	なし
事務局	（企画政策課） 林課長、杉原課長補佐、神野課長補佐兼係長、秋山副主幹、深瀬主任、市江主任、倉野主事
会議録署名委員	佐藤委員、柴田委員
<p>1 開会</p> <p>（神野課長補佐兼係長） ただ今から、令和5年度第1回清須市地域公共交通会議を開会します。私は、本日進行を務めさせていただきます、企画政策課の神野と申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。 それでは、開会にあたりまして、前田会長からごあいさつをいただきたいと存じます。 前田会長、よろしく申し上げます。</p> <p>（前田会長） 皆様、おはようございます。 本日は、令和5年度第1回清須市地域公共交通会議へご出席いただきまして、ありがとうございます。 また、日頃、皆様には本会議の運営等に多大なご理解とご協力をいただき大変ありがとうございます。 さて、本日の会議では「令和4年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算」の承認や「地域公共交通計画に係る取組状況の評価（案）について」、「令和6年度清須市地域公共交通計画別紙（案）について」をご協議いただくこととなっておりますので、より良いご意見賜りますよう皆様どうぞよろしくお願いいたします。 簡単ではございますが、これで私のあいさつに代えさせていただきます。</p> <p>（神野課長補佐兼係長） ありがとうございました。それでは、本日の会議の出席状況についてご報告します。 はじめに、人事異動等により本会議から新たにご参画いただきます委員の皆様をご紹介します。まず一人目は、第3号委員で国土交通省中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官の宮川高彰委員です。なお、宮川委員は他の公務のため、本田様に代理で出席いただいております。 二人目は、第4号委員で愛知県都市・交通局交通対策課担当課長の石屋義道委員です。なお、石屋委員は他の公務のため、本日はご欠席です。 三人目は、同じく第4号委員で愛知県警察本部西枇杷島警察署交通課長の荻田善雄委員です。 また、そのほかの本日の欠席委員のご連絡です。本日の欠席委員は、第5号委員で名古屋タクシー協会専務理事の多田委員と、同じく第5号</p>	

委員で愛知県バス協会専務理事の小林委員です。

どうぞよろしく申し上げます。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、事務局からお願いがございませう。

当会議の議事録を作成するため、会議でのご発言にあたっては、次の二点についてご協力をお願いいたします。

まず一点目ですが、ご発言にあたっては、必ず挙手の上、会長の指名を受けてください。

二点目ですが、会長の指名を受けた委員様には、係の者がマイクをお持ちいたしますので、その都度、ご自身のお名前を仰っていただいからご発言くださいますよう、お願いいたします。

なお、本日机上に配布させていただきました「活発で良い議論ができる会議のために」という冊子について、愛知運輸支局の本田様より簡単なお説明があります。よろしくお願いいたします。

(宮川委員 (代理))

愛知運輸支局の本田です。座って失礼いたします。

今年度の最初の公共交通会議ということで、新しく委員になられた方もいらっしゃることもあり、再確認という意味を込めて公共交通会議の目的といったところを簡単ですがご説明させていただきます。

では、お手元の資料「活発で良い議論ができる会議のために」をご覧ください。

1枚開いていただきますと、鉄道・バス・タクシー、いわゆる公共交通の利用者は長らく減少傾向でございまして、全国的に路線の縮小、運行廃止の危機が広がっているところでもあります。地域の公共交通を維持していくためには何が重要かというところですが、まず住民の方々を始めとした関係者全員が危機意識を持って考えたり意見を出し合うことが必要ではないかと書いてあります。こういった関係者で話し合う場として公共交通会議が設置されております。様々な立場の委員さんが設定されておりますので、それぞれの立場から公共交通に対する意見を積極的に出していただければと思っております。また皆様方ご自身のご家族の方や所属団体の方など色々な意見を聞き取っていただい、今後の会議の場で発言していただければより良いものになるのかなと思っておりますので、よろしく申し上げます。

資料3 ページ目に各委員に期待される役割等を整理させていただいております。時間の関係もありますので、またゆっくり見ていただければと思っております。

また、4 ページ目以降にも様々な参考事項等を載せておりますので、ご覧になっていただい、より良い会議にさせていただければと思っておりますのでよろしく申し上げます。

(神野課長補佐兼係長)

ありがとうございました。

それでは、ここからの進行は前田会長にお願いいたします。

2 議事〔報告事項〕(1)令和5年度清須市地域公共交通会議スケジュールについて(2)令和4年度コミュニティバスの利用状況の推移について

(前田会長)

それでは、ここからは私の方で会議の取り回しをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まずはじめに、会議録の署名委員を指名したいと思います。

本日の会議の会議録署名委員は、座席の順に佐藤委員と柴田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事に入ります。

本日の議事につきましては、お手元の次第のとおり、報告事項が2件、協議事項が3件です。

まずは次第の順に「報告事項」についての議事を進めます。

次第にある報告事項(1)と(2)を一括して扱うこととしますので、該当資料について事務局から説明してください。

(市江主任)

【資料1・2を説明】

(前田会長)

ありがとうございました。

それでは、この報告について、ご意見、ご質問等がございましたら、挙手をお願いいたします。

(前田会長)

ご意見等もないようですので、報告事項については、これで終了します。

2 議事〔協議事項〕(1)令和4年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について(2)清須市地域公共交通計画に係る取組状況の評価(案)について(3)令和6年度清須市地域公共交通計画別紙(案)について

(前田会長)

引き続き、「協議事項」に関する議事に移ります。

まずは次第の順に(1)「令和4年度清須市地域公共交通会議歳入歳出決算について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主任)

【資料3を説明】

(前田会長)

ただいま事務局からご説明がありましたとおり、監事の山田委員にも

ご確認いただき書面でご提出いただいておりますので、ここで決算認定についてご意見があればいただきたいと思いますと思いますがよろしいでしょうか。

(前田会長)

ありがとうございます。

ご質問も無いようですので、本件に関しまして、ご承認いただくという事でよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題(1)を終わります。

(前田会長)

続きまして、協議事項(2)「清須市地域公共交通計画に係る取組状況の評価(案)について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主任)

【資料4を説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(山田委員)

山田です。

さくらまつりのときにPRイベントがあったわけですが、林課長が必死になってやられていたということで、場所的に悪いところでしたよね。入り口から下がったところで。もう少し良い場所でやったらいいのではないかと思います。林課長ひとりで会議の人はいなかったということで、もう一人つばめタクシーの方がおりましたけれど、もう少し2、3人いて旗でも持ってやったらどうかと感じました。

それと、自転車放置の啓発とは誰がやられているんですか。

(林課長)

一点目はさくらまつりでの啓発ですが、ご指摘のとおり場所としてはちょっと奥まったところに実際にバスを持ってきて、あとは簡単なお子様楽しんでいただけるようなブースを設けて行いました。バスの体験というところは大変親子連れに喜んでいただいていたのですが、場所が悪いので引き込みということで声をかけて、奥のブースのところでは企画政策課の職員が対応しておりました。

場所については、どうしてもイベントの関係がございますので、一度担当の産業課へ相談をさせていただこうと思うのですが、スペースの関

係もございますので、少しでも良い場所になるような調整をかけたいと思います。

二点目の自転車の放置禁止区域についてですが、こちらは交通安全担当となりますので総務課となり、それぞれ駅に設定している放置禁止区域の見回りや放置自転車に札付けをして回収するなどしております。

(山田委員)

もう一点ですが、市の負担が6円ほど少なくなっているわけですが、目標人数が下回っているのに少なくなっているということはどういうことなんでしょうか。

(市江主任)

こちらの市の財政負担額についての目標ですが、昨年度に清須市地域公共交通計画を変更しておりまして、こちらは補助金の補助要件を満たすための変更になっておりまして、その中で新しく補助金を受けるためには、市の財政負担額が地域公共交通計画に書かれていないといけないというところで、昨年度新たに追加した項目となっております。しかしながら、あしがるバスの利用者数については、令和2年度策定した当時の目標値となっておりますので、利用者数は、実績を満たしていない状況となっておりますが、市の財政負担額については、昨年度設定しており、コロナのことも考慮した目標値となっておりますので、こちらの財政負担額のみ実績値が目標値以下に抑えられております。

(加藤副会長)

何点かあるんですけど、まず資料4-2の1枚目ですが、取組の実施状況なので基本的には「やりました」、「やりました」となっていますが、これだとPDCAにも全くなりません。やると決めてやりましただけでは後に残ることはないです。やっているから良いことなんですけど、そもそもやっていけないことだったとか、あるいはやったけどやり方が悪かったとか本来書いてあるべきで、これは2ページ目のところで実績があるんですけど、公共交通で難しいところは、取組をやると実際増えるというのは必ずしもよく分からないことが多くて、なぜかという、交通の場合は生活スタイルがそういったものと関係するので、これをやったら大きく増えるということではないような感じがして、そのことによって増えたとか減ったとか言いづらい、証明しづらいということなので、だったらやらなくていいかと言われると、そのときにそういうことをやって反応が良かったとか、山田委員のご指摘のように場所が悪いんじゃないとか、そういうことが見つかると思います。やるのは当然だと思っただけで、やっていたらそれで良かったのはいいので、来年度、再来年度となった場合にどういうことを考えてやると良くなるだとか、我ながらやってよかったなとか、そういうことを1行以上は書いてほしいと思います。

また、区画整理のところでも、こんなに書く必要はなくて、上下水道とか関係のないことを書かないで、どれくらいにできそうの段階まで進んだとか、来年とかそれくらいになってきたらそれに向けてこういう取

組をしていかなければいけないとか、そういうことを書いていないといけないと思うんですよ。ここで決めることで、この資料はあくまで事務局案なので、ここでアップデートしてもらえればいいと思うし、逆に言うところには自信がないとか、ここは我々も実感してないので皆さんはどうですかとか、そういうことを書いておくのもいいと思います。

あと、二枚目ですけど、満足度調査で測るところに棒線がありますけど、説明を口頭でされましたよね。注2には、「市民満足度調査により測定」と書いてあるんですけど、今年度に市民満足度調査が無かったということが重要で、ここに「満足度調査は2年に1回実施」とか書いておいて、今年度は調査が無かったと書かないと、この委員は分かるんですけど、議事録とかも読まない人がほとんどなので、資料を見たときになんでここ棒線なのと思われてしまう。つまり、口頭で説明するのは最小限にして必要なことは資料に書いておかないといけないねということだと思います。あと、実績値や目標値が書いてありますが、どうやって決めたかとかも、計画や過去の経緯を見れば分かるんですが見ないので、ここに書いておかないと全く意味がないというふうに思いました。

あと、報告事項2のところでも利用状況の推移があったんですけど、そこと同じ数字を使っているということなので、資料2で書かれていたこととここで書いてあることがどういう関係であるか言ってもらったほうが、単純に同じこと言っているはずなのに同じように聞こえないとか、同じこと言っているのであれば先ほどのとおりですとここでは言えればいいと思います。

ともかく、これが何であるかと言ったら、一番大事なのは昨年度いろいろやって、このままでいいのか、それとも通常は全部このままでいいということはないと思うので、今年度来年度どうしていきたいかというのを計画していく、もちろんその前には考えてはいるんですけど、逐次アップデートしていくことが重要で、せっかく清須の場合は年何回も会議を開催しているので、ここで評価してこうなったから次はこうしていくというのを明確にやれるといいなと思います。まあ、担当レベルではやられていると思うんですけど、ここで見える化していただけると検討するのをそういうことを前提に検討できるので良いと思います。

(前田会長)

ありがとうございました。

ただいま加藤先生からご指摘ありました点について、いろいろチェックする必要があると思いますが、ひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。

他に委員さん、よろしいでしょうか。

(宮川委員 (代理))

愛知運輸支局の本田です。

一点だけ教えてください。レンタサイクルの部分ですが、観光客が徐々に戻りつつあるということですが、目標値から実績値が大きく達成しているということで、すごいなと思うのですが、他の地域ではなかなかレンタサイクルは苦しい部分があったりする中で大きく達成しているのは

何かレンタサイクルについて周知で工夫している部分とかありますでしょうか。

(市江主任)

事務局の市江です。

こちらのレンタサイクルにつきましては産業課が所管となってやっておりますことになりまして、レンタサイクルのサイクルポートは今清洲城の駐車場のところに設置してあります。

ですので単純に清洲城の来場者数が増えたことによって利用者数が伸びたと考えておりますが、先ほど少し説明いたしました但し昨年イベントが徐々に解禁され、清洲城で行った信長まつりやきよすフェスといった催し物も徐々に開催できるようになりましたので、そちらの催し物の時に、こういったレンタサイクルの周知を行っているとは産業課の方からは聞いております。

(前田委員)

他によろしいでしょうか。

それでは、他にご質問も無いようですので、ここでお諮りします。

本件に関しまして、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題(2)を終わります。

(前田会長)

続きまして、協議事項(3)「令和6年度清須市地域公共交通計画別紙(案)について」を議題とします。

それでは、事務局から説明してください。

(市江主任)

【資料5を説明】

(前田会長)

それでは、この協議事項について、ご意見やご質問等がありましたら挙手をお願いします。

(山田委員)

山田です。

補助対象事業の基準というところで、3番目の中部運輸局長に指定されている新川・清洲・春日のどの地区なんですか。

(市江主任)

新川ですと桃栄の五条川沿い、あま市との市境が指定されていたと記憶しています。清洲地区、春日地区については、今手元に資料がないた

め詳しい地区はすぐにお答えできませんが、確か北名古屋との市境の辺りが指定されていたと記憶しています。なお、こちらは5年の認定となっており、5年ごとに更新しております。

(山田委員)

もう一つ。⑥の経営赤字が見込まれるってのはどれくらいの経営赤字なのですか。

(市江主任)

補助補助金の申請する時にこの経常赤字を示すために経常収支や経常収益を書く欄があるんですけども、そちらの経常収益が経常費用に達していないものについて補助金を交付すると、補助金要綱の方で規定されております。詳しい金額については、資料を持ち合わせておりませんので、またお調べしてお伝えいたします。

(山田委員)

それともう一つ。令和6年度の3.2.の目標達成のために小学校とかで乗り方教室をやるということなんですけども、小学校でもやるのは親子で乗るということで良いとは思いますが、我々高齢者、私の地域も乗ったことがない、乗り方が分からんと仰る方もいるので、そういう寿会にも機会を与えるということをしたほうが乗車率が伸びるのではないかなと思うのですが、いかがですか。

(市江主任)

こちらにつきましては、前回の会議でも山田委員からご意見いただいたところで、事務局の方でも検討いたしまして、今、社会福祉協議会の方に日程の調整を行っているところになりまして、本年度、寿会の役員会のところで、乗り方についての説明ができればと考えております。

(山田委員)

役員会ではなく、各地域で寿会というのを持っていますので、そういうところの方が、人は集めやすいですね。

役員会と言うとただ会長さんたちが行って話をしてるだけで、そんな場所でやっても仕方がない。本当の会員さんたちが集まる場所でやったほうがいいと思います。どうですか。

(林課長)

企画政策課長の林です。

今役員会での予定ということで、さらにご意見をいただいたんですけども、一度役員会でご意見をいただきたいと思っております。こちらで乗り方のチラシとかそういったものを作成しておりますので、まずもって役員会の方からそういったチラシの周知をさせていただきたいと、プラスその各地域で実際の会員の皆様の方に説明等をできればということで一度調整をさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(加藤副会長)

山田委員が仰ったことが常識というか、役員会が一番乗らない人の集まりだと思っていて、そんなところで話してどうですかと聞いたって困っている人がいるからやればいいんじゃないとか、場合によっては前向きなことを言うてくださるところもあると思いますけど、そうならないことが圧倒的に多いので、こちらから働きかけていかなければならないかなということと、もともと資料4-1の計画の中でどう位置付けられていたかが問題で、乗り方教室はよく3K、子ども・高齢者・観光客と言いますが、観光客は外から来られる方でそういう人はよく動かれるのであんまり苦になることはなく、乗り方をホームページとかで書いておけばいいんですけど、子どもとか高齢者はそうはいかないとなると、そこで乗り方教室を開催する必要があるということなので、子どもに実施することと高齢者に実施すること、それぞれやっていかなきゃいけないとなったら、計画の中でどうなっているのかと、もちろんこの程度のことだったら、子どもだけにやるということでしたが高齢者にもやるということは計画的には重要なことではないので、改訂するとかには至らないと思います。それでも資料5-2に別紙ということで書くということだったら、計画には書いていないけどそこが重要だという認識が地域公共交通会議でも共有されているということなので、今年度やっていきますというふうであれば、明確に分かるのでそういうふうにかかれるといいと思います。

あと、市役所だといろんな部署に分かれているので、公共交通の担当が高齢者のところへ直接行って働きかけてやってくださいとかは、あまりやりづらい自治体もあって、そういうことをやらないのは怠慢とは思ってないですけど、ここの委員の場合はショートカットできる場合があるかもしれないので、それだったらこの人に聞いたらいいかそういうことができると思うので、やりたいんですけど我々がやろうとすると時間がかかるので手っ取り早くやれる方法はありませんかと言ってもらったら、会議の意味が高まるんで、そういうふうにしてほしいと思います。

子どもさんは純粹に好きだからとか、楽しいからってということですけど、お年寄りの方は結構恥ずかしくて乗らないとか、恥ずかしくはないんですけど今更なんなのとか、そういうところがあるので、私も出たことがあるんですけど、拝んでいただけるくらい喜ばれて、そのときに出てくるのは、もっと早くやってほしかったとか、やっているのを知らなかったとかで、それだったらさっきのチラシを寿会の役員会で配ることが最短距離かって言ったら多分違うでしょ。

停留所に貼っておくのも有りかなと思うんですけど、停留所に乗るのが不安な方は乗り方教室を市としてやることのできるのご相談くださいとか、他のところでは見たことはないですけど、停留所だったらごちゃごちゃ書いてあってよく分からないときに、そういう機会があるのなら利用したいというふうになると思うので、考えてみてもいいと思います。

あと、さっきの一人当たり負担額ですけど、これって市の負担額だから国庫補助は入ってないですよ。それだと、国庫補助が増えれば減る

し、そう考えるとこの市の負担額というのが、どのくらい我々がうまく国庫補助をとれたかとか入ってしまう数字になるというので良いのかどうかというのがちょっと気になります。本当は純粋に赤字がいくらで、その中で市がどれだけ負担しているかが両方示されて、目標がどちらになるかはその立場によって違うと思うんですけど、もっと言うと、利用者が何割くらいで、国庫補助が何割で、残りの何割が市の負担というように、健康保険と同じような感じに考えたらいいんですけど、これのもうちょっといい値というのは、利用者がもう少し払っていただけないかなとか、国庫補助ももう少し貰えると嬉しいなとか、これくらいまで持っていったらいいとか、そういうのを示したほうがいいかなと思います。

交通不便地域の話は、この資料だと5-2の4ページのところで学区は書いてあって、あとは駅から半径1キロの範囲外というところが国の基準となっていて、そういうところでは重点的に対策を講じていくこととなっています。

(前田会長)

ありがとうございます。

他によろしいでしょうか。

ご質問も無いようですので、ここでお諮りします。

本件に関しまして、ご承認いただくということでよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

ありがとうございます。

それでは、これで協議事項の議題(3)を終わります。

3 その他

(前田会長)

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了いたしました。

慎重にご審議いただきありがとうございました。

ここからは、次第の「3 その他」に移ります。

事務局から報告事項はありますか。

(市江主任)

先ほどの資料説明でもご説明させていただきましたが、資料5-2の計画別紙につきましては、来月末までに運輸局の方にさせていただきますのでよろしくお願いいたします。事務局からは以上です。

(前田会長)

最後に、この他のことで、委員の皆様から何かございますか。

(山田委員)

山田です。地域の方からのお話ですが、グリーンルートに乗って、

ヨシヅヤとか、アオキとかのポイントカードを落としちゃったようで、そのあと、役所の方へ電話で連絡したんだということなんですが、後で落ちてませんでしたということをおっしゃると。そして明くる日、同じ時刻のグリーンバスに乗ったら、同じ場所で足元見たら下に落ちていたと。事業者側に聞きたいんですけども、終わってからの車内の清掃とかそういうものをやられてますよね。コロナのときは殺菌もやられてたと思うんですけども、そこら辺どうなんですかね。

やっぱり椅子の下の方もね、普通のタクシーだときちんとやられてるんですけども、あしがるバスもそのように清掃していただきたいということと、もう一つ、利用者の方が、乗務員さんの名札が付いてる時と全く付いてない時といろいろあるということをおっしゃってますが、事業者として運転手さんの名札なんか後ろにポツとはめるところがありますよね。ナビのところに付けてる人もいるし、どうなんですかね。

(大島委員)

まず、お忘れ物の件につきましては、改善案ということで事務局の方へ提出させていただいておりますが、問合せがあった場合、車庫へ帰ってきたときドライバーが確認しておりましたが暗くて見つからないこともあります。その場合は事務所に務めている運行管理者が再度徹底して確認するようにして、再発防止に努めているところになります。

また、名札の件についてですけれども、指導が行き届いてないところがあります。これは大変申し訳ございません。名札を掲げるのは道路運送法で決まっていますが、徹底して指導して付けるようにいたします。特に乗務員交代の時間が短いこともあり、ドライバーの頭の後ろの辺りに付けるのが難しい場合は、最低でも窓の中央部分に付けるように指導しておりますが、徹底されていない部分があるようですので、再度指導したいと思っております。

(林課長)

今の件で、先ほどの忘れ物の件なんですけども、利用者の方から、今、山田委員が仰ったとおりの経緯で、こちらでは事業者の方に確認をしたところ落とし物はないという報告を受けた中で、そのあと同じ方が見つけたということがございました。事務局としても、事業者の確認と今後の改善ということで、今のドライバーだけの確認ではなく、運行終了後に運行管理者等に必ず確認をしていただく。また、ドライブレコーダー等で確認できる場合とできない場合がもちろんあると思うんですけども、座っていた箇所がもし特定できれば、そこを重点的にやってもらう方法があると思っておりますので、そちらについてはこちらからも指導して、今後同様のことがないようにお願いしているところでございます。以上です。

(鬼頭委員)

名札の件なんですけれども、これは私も指摘したことあるんです。名札を付けているドライバーは決まっています。付けていない人はいつも付けていない。先ほどの説明は利用者の立場からすると言いつつ、真

面目にやっている方もいらっしゃいます。大抵名札が付いている方は挨拶をしてくれますが、付いていない方は挨拶もしない。そういうことが何回か乗っているとだんだんと見えてきます。そのことを留意していただきたい。

(宮川委員 (代理))

運輸支局の本田でございます。若干ちょっと視点が違うかもしれないですが、とはいえ被っている部分ではあるんですけど、運送法の規則の関係でバス・タクシーにはなるんですが、車内に名札を掲示すべしというルールがあります。昨今なかなか難しいお客さんが全国各地いらっしゃって、名前を出してしまうと嫌がらせのようなことをされてしまうということでバス・タクシー事業者は悩んでおられるという状況で、車内の表示につきましては今後無くそうという動きになっていきますのでご理解いただけたらと思います。ネームプレートや後ろの部分の表示につきましては各事業者の判断でやっていることになります。やっぱりドライバーの方もいろいろ自分の名前をオープンすることを悩んでいらっしゃる部分があるということ、頭の片隅にご理解いただいて色んなご意見いただけたらと思いますのでよろしく願いいたします。

(加藤副会長)

現状は付けなきゃいけないですね。

ですが、今、支局さんが仰ったのは、例えばSNSにドライバーがとんでもないやつとか書く人がいっぱいいるということで、運転手を辞めてしまう人が少なからずいる状態で、人が足りないのにそれやっていたらどうにもならないということなんで、むしろ車番であるとか、バスだったらダイヤがあるのでその運転手は誰だったとか、あるいはドラレコとかもあるので、そこでも確認できると思います。これは国会でも話題が出ていて規則の方針は固まっていますけど、少なくとも現状は守っていただく、あとよく私も相談を受けるんですけど、その義務は廃止なので、どういう方針でどうしていくかっていうのは、それぞれの会社に任せるとなっているので、その会社の任せられてどうするかっていうのは、やはり守っていただくというのでお願いしたいなと思います。

(前田会長)

ありがとうございます。

では、以後の進行は、事務局へとお返ししたいと思います。

よろしく申し上げます。

4 閉会

(神野課長補佐兼係長)

長時間にわたり、お疲れ様でした。

それでは、これをもちまして、令和5年度 第1回清須市地域公共交通会議を閉会いたします。

本日はお忙しいところご出席いただき、ありがとうございました。

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線3214
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前田 繁一

署名委員 佐藤 あつ子

署名委員 柴田 孝子